

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 5

2022年8月25日発行

8月の聖句

『平和を実現する人々は、幸いである。

その人たちは神の子と呼ばれる』(新約聖書 マタイによる福音書5章9節)

わたくしの若き日、その神学生時代、キリスト教倫理学を教わったM先生が亡くなりました。

M先生はハンブルグで神学を修めた研究者、M先生からナチに抵抗して殉じた神学者ボンヘファーを学びました。

わたくしにとって学究の道は困難をきわめました、M先生のお宅にお招きいただいて、よく食事に与りました。

教養は身につきましたが、栄養には満たされました。

穏やかなM先生が、その折々に、口にした短い言葉がいまでも忘れられません。「関係が近ければ近いほど、平和は難しい」と。

実は、イエスさまの祝福の言葉「平和を実現…」の「平和」は、身近な人々との関係性を第一義的意味とします。身近から、平和をつくりだす大切さを知らされます。

チャプレン いけだとおる

幼稚園では初のブルーベリー狩り!

8月22日・23日の2日間、毛陽地区の

東井農園さんにおじゃましたの

りんごの木は2年前の大雪の被害で

まだ影響が残っているそうで、

今年はブルーベリー狩りになります。

ブルーベリーというと長沼の

イメージが強かったのですが、

岩見沢市内でこんなに

立派な畑を整備して

頑張っている農家さんが

いると知って大感激。

小さい子の背も

自分で探して探して

食べられて、本当に

すてきな体験でした。

「あんなにぶどうおいしい」

「ぶどうおいしい」

先生が「ぶどうじゃ

なくてブルーベリーだよ」といって「ぶどうベリー

おいしい」まじった!



7月23日(土)大雨予報のため7/24(日)フェスティバル & バザーを延期しました。

「懐かしいな〜！」3年ぶりのフェスティバル

PTA役員の皆さんとバザー委員の皆さんが早くから準備を進めて下さいました。新しい会員の皆さんにもよくわかるようにPTAの活動のこと、特にサークルやフェスティバルについてイメージしやすく、いねいなプリントを作って下さり、コロナで途切れていた子育てのための大事なPTA活動を復活させて下さいました。



2学期さいしょのこひつじ

8月24日(水) いいお天気の中、こひつじの時間。

みんな今、気に入ってる遊びに思う存分とりこんでいました。

とてもこのスペースでは描ききれないほど豊かでした。

火でナスやピーマンをとってきて、たき火で焼いて食べている子、

8月に新しくきたフリーフォール登りに夢中の子、

どろんどろん池にはまって大満足の子、

花を挿んですいすいして、色水のきれいなこひつじをする子、

2階建てカフェの中でゆいゆい絵本を喜んで楽しむ子、

屋上の屋根に4人も5人も仲間と座って

お話中の子... あかるといお日様の下で

たっぶり遊びごあと、みんなは本当にいいお顔です。

そのあとおんやからいきまじした

月明い歌声や陽気な笑い声が

ひびいてきました。やっぱり

これでまちがいなない。

みんなを呼び集めて

すぐ集まるように

毎日遊んでいる

年長さんの

氷おに。

走りまわることが

どんどんかっこよく、

ピュンと

速くなった

ようですよ

その脇でちっちゃい子がまたりと

シワセ空間

小さな平和をいっぱい創ろう

冒頭のチャプレンのお話を読んで、社会人3年目の頃、すごく叱られたことを思い出しました。ある日、私と夫が住む教員住宅で、同年代の同僚の女の先生たちとワイワイやっていた。3年もたつと色々なことが見えて来るような気がして、職場で腹が立つことを、ここぞとばかりに思い切り話していたんです。みんなが帰った後、夫が「お前、今くっちゃべってた時の顔、見せてやりたかったわ。すっげえ醜い顔してたぞ。そんな不満は職員会議で言え！家庭が暗くなるから家に持ち込むな！」と。ガーン！金づちで頭を殴られたようなショック！自分が目指す家庭像・人間像とかけ離れていたと気づき、それ以来、気を付けるようになりました。子どもが生まれてからも悪口のない家庭でいられました。するとみんなの心がフリーで楽でいられます。身近な人との平和は難しいけど、そのときに気づけて良かったです。